

花野たより

NPO法人阿蘇花野協会会報誌
VOL. 12号 2008年5月30日発行

2008. 春号

活動報告

3月20日、野焼き。

4月29日、野の花観察会。

●2008年度活動スケジュール



3月20日、 野焼きを実施しました。



ご参加の皆さん、お疲れさまでした。

いや～、今年の野焼きはひやひやしました。というのも、この3月は晴天つづきで草が乾燥し、すでに阿蘇では野焼きの飛び火で森林が延焼するといった事故が起きていたからです。乾燥すればダイナミックな炎を観ることができて大興奮なのですが、主催者側としては正直コワイ。

しかも、今回は参加者が50名を超えており、事前の準備をちゃんとやっておかないと、という緊張感があったのです。

理想的なのは、2～3日前に雨が降って、その後は晴れというパターン。足元には湿りが残っているが、草は乾燥しているという状態ですね。これだと、草原は見事に燃え上がりますが、延焼はしにくいわけです。

ところが、自然はそううまくは運びません。晴天がつづいたと思ったら、本番2日前あたりから降り始めた激しい雨が前日まで止まない。乾燥を心配していたら、一転、雨の心配へ。「こりゃあ中止だなあ。」と思っていたら、「当日は雨が上がるので、午後からなら焼ける。」と地元からの知らせ。で、当日の天気はというと、ズバリ的中。さすが、地元の方々の読みは確かです。

しかし、湿ってましたからね。なかなか燃え上がりませんでした。参加者の皆さんはやや欲求不満だったかもしれませんが、事務局一同、事故がなくて正直ホッとしました。



▼野焼き参加者の皆さん。お疲れさまでした。





活動報告

4月29日、 野の花観察会。

野焼きから1カ月後の祝日、4月29日。今年最初の「野の花観察会」を行いました。午前中は曇り空で、お昼くらいから晴れ。暑すぎず、もちろん寒くもなく、山歩きにはちょうどいい天気でした。

焼け野原は1カ月で緑のじゅうたんに変貌しています。くるぶしも隠れない程度の短い草は若々しく、その合間のあちこちにヒトリシズカ、サクラソウ、キスミレ、フデリンドウ、ヤマエンゴサク、フクジュソウなどが咲いています。この季節の花は、いずれも小さく、可憐です。花の大きさが1センチにも満たないものも多く、そのくせ花の造りは玄妙、絶妙、奇妙、妙妙。顔を近づけてじ〜っと観察していると、生命の不思議な造形力に感嘆の息をもらしてしまいます。

参加者は30数名。今回は瀬井理事の発案で、4〜5名ずつの班に分かれて行うラリー方式の観察会となりました。事前に16種類の花のところへマーキングをしておき、それが何という花なのか、資料と見比



べながら名前当てしていこうというもの。班それぞれに1巡した後、瀬井理事の解説を聞きながら全員でもう1巡。はじめての試みでしたが、これはいい方法だと思いましたね。じっくりと観察もできるし、一度考えながら歩いていますから、後の解説もすんなり理解できました。

さて、次回は、7月です。春の花々とは異なり、ヒメユリなど夏らしい強い色彩の花たちを観ることができるはず。ぜひ、ご参加ください。



フクジュソウ



フデリンドウ



ヒトリシズカ



センボンヤリ

2008年度の活動予定です！！

本年度の活動予定です。お時間が合う方、ぜひご参加ください。

7月 6日(日)	第2回阿蘇野の花観察会(ヒメユリ、ハナシノブなど)
8月 3日(日)	第3回阿蘇野の花観察会(ヤツシロソウ、ツクシトラノオなど)
10月12日(日)	草刈り作業(予備日13日(月)、19日(日))
10月19日(日)	草集め作業(予備日26日(日))
3月 8日(日)	野焼き(予備日15日(日)、20日(金・春分の日)、21日(土)、22日(日))

※上記、いずれの活動についても、会員の皆さんには事前のお知らせをお送りし、参加者を確認した上で実施します。

阿蘇花野協会の帽子、できました！！

阿蘇花野協会のオリジナル・キャップを制作しました。

阿蘇花野協会では、トラスト地の盗掘などを防ぐために、定期的なパトロールを行ったり、現地の方々にお願いして不審者の通報を行ったりしています。そこで、協会会員を区別するために目印が必要となり、キャップの制作となったわけです。

- このキャップは、協会会員の方で、観察会や野焼きなどの現地活動に参加された方に、現地で無料配布します。
- キャップの無料配布は、原則的に1回のみとします。滅失などにより、再度配布する場合には実費(1,300円)を申し受けます。



ツボスミレ



ヤマエンゴサク



ツクシシオガマ

発行



NPO法人

阿蘇花野協会

〒862-0924 熊本市帯山7丁目1番60号 TEL&FAX 050-6620-8306

「花野たより」は年4回発行していく予定です。会員の皆さま、今後ともよろしくお願いいたします。編集部へのご意見・ご要望、励ましなどはメールでよろしく。

k.mori@airs.ne.jp(広報担当:森)